

臍曲がり爺の独り言（その二）

この前は久しぶりで、日本中が日本を意識したな。そうWBCでの日本の優勝だ。爺も野球は好きだし、楽しませてもらったね。

しかし、一つだけ嫌な思いもした。それは王監督の紹介をアナウンサーがしていた時ハンクアーロンのホームラン記録を破り世界記録を持っているとの表現をしていたことだ。

何の抵抗もなしに喋っていたが、本当に世界記録でいいのか。

確かに、あの時も日本中が世界記録を何時破るかと固唾を呑んで見守っていた。そしてその瞬間ハンクアーロンのメッセージを流し、挙句の果てに国民栄誉賞の第一号だ。

爺は王選手の偉業にけちをつけるつもりはさらさらない。それどころか王、長嶋のビッグスターに胸を躍らし、技術的には王のほうが上だねと密かに思っていたのだ。

しかし、世界記録の表現には絶対納得できなかった。

大リーグの記録と日本プロ野球の記録を横並びにするなんて、無茶苦茶じゃあないか。それをごっちゃ混ぜにして喜んでるのは、はっきり言ってむしろ惨めじゃないのか。

例えば、韓国リーグで日本のプロ野球の記録を破ったといって韓国で国を挙げて喜んでいたら、皆どう思う。はっきり言って「阿呆か」のひとつことだろう。

同じことじゃあないのかね。

しかし、あのころの全マスコミは、そんな基本的な違いには眼を瞑ってひたすら国民をあまりまくっていた。そして政治まで国民に迎合して、国民栄誉賞だ。

そして、もはや何の抵抗も無くホームラン世界記録の王選手だ。

最近は、少し内容は違うけど金本選手の世界記録という言葉が当たり前の表現になっている。誰も疑問を感じないのかね。

確かにたかが野球、眼を三角にして声を上げるほどのことではないだろう。

しかしこれは、本当は由々しき問題じゃないだろうか。マスコミで流れが出来たらそれに反する意見は、問答無用で言葉に出来なくなっている。

テレビでも新聞でもヒーロー、悪人と決め付けてそのラインでしかコメントできない。

爺が言いたいのはこのようなマスコミの風潮だ。

例えば、朝日新聞だが戦時中は戦争賛歌で国中を煽ったのに、今度はとにかく反権威で、凝り固まっている。

どちらかというと、それも国民（大衆）に迎合しているとか思えないのだがね。

第三権力、と言われているマスコミ。藤原氏は「国家の品格」で第一権力と言っていたが本当に現在のマスコミの力は強大であると思う。

ちよつと話は変わるが爺の姪がNHKディレクターをしていた時彼女の企画のコンテを見せてもらう機会があった。振動病を取り扱ったものだったが、お茶を出すシーンとかあつて手の震えてるさまを写してことさら悲惨さを強調していた。病人の救われない現状を報せるものだったが、当然雇用者である建設業とか鉱山業とかは悪者であった。確かに病人は気の

毒だし、建設業に責任無しとは言わないが、しかし悪人扱いはないはずだろう。と少し口論したことがある。

我々建設業は決して一方的な使用者ではなく、社会資本の整備、もっと碎けて言えば人間が便利で安全で快適な生活をする為に労働者と一体になって苦勞してきたのだ。

男ばかりの仕事場で荒っぽい雰囲気はあるかもしれないが、むしろ単純で純粋な連中の集まりなんだ。他の職場よりはるかに悪意の少ない世界と爺はいいたいね。

話を戻すけどこの第一権力のマスコミの関係者は本当に自分は神の力を持っていると考えその力の行使には、真摯な心と、公平無私の気持ちを持って欲しいと心より願うね。

建設業の弁護や良さが言えない雰囲気になっっている感じだが、我々ももっとマスコミに積極的に関与して、必要なことはどんどん発信しようじゃあないか。

結論。マスコミは信用できないが、現実のものとして受け入れて積極的に関与していこう。